

あたまを ひねれば...

「むむむ？」とおもったとき、こんなふうに あたまをひねってみると
かんがいい考えが うかぶ!...かも しれません。



『世界のなぞかけ昔話』の
2は『あたまをひねろう!』
3は『やっとわかったぞ!』

『どうしてかわかる?』
(世界のなぞかけ昔話 1)』

ジョージ・シャノン/文
ピーター・シス/絵
福本 友美子/訳
晶文社
(3~6年生)

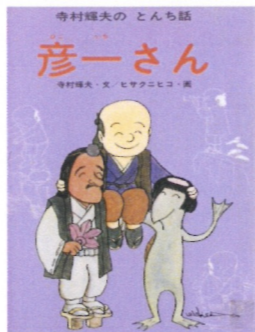


『100の知識世界を変える発明』

ダンカン・ブルーワー/著
渡辺 政隆/日本語版監修
文研出版



『彦一さん (寺村輝夫のとんち話 3)』



寺村 輝夫/文
ヒサ クニヒコ/画
あかね書房
(1年生から)

『寺村輝夫のとんち話』の
1は、『一休さん』
2は、『吉四六さん』

『古道具ほんなら堂 : ちょっと不思議あり』



楠 章子/作
日置 由美子/画
毎日新聞社
(5、6年生)

『くまの子ウーフ』

神沢 利子/作
井上 洋介/絵
ポプラ社
(3、4年生)



『まめじかカンチルの冒険 : インドネシアの昔話』



松井 由紀子/再話
安井 寿磨子/絵
福音館書店
(1、2年生)



なるほど、それは
わたしには 思い
つかなかった...!



『小さなバイキングビッケ』

ルーネル・ヨンソン/作
エーヴェット・カールソン/絵
石渡 利康/訳
評論社
(3、4年生)

ビッケの
シリーズは
ぜんぶで6冊

『あたまをつかった小さなおばあさん』



ホープ・ニューウェル/作
松岡 享子/訳
山脇 百合子/画
福音館書店
(1、2年生)